

りんご 9月下旬に成熟する着色良好な赤色品種「岩手7号」

【1 岩手7号の特徴】

- (1)種子親は「つがる」、花粉親は「不明」です。
- (2)収穫期は育成地（北上市）において9月下旬です。つがるより遅く、ジョナゴールドより早く、千秋とほぼ同時期です。
- (3)樹姿は開帳性、樹の大きさおよび樹勢は中程度です。
- (4)開花期は、「ふじ」とほぼ同時期です。
- (5)果実の外観は形状が円、玉揃いは中、大きさは原木で250～300g前後です。
- (6)果皮を被う色は濃紅色から暗紅色で全面に着色する。
- (7)糖度は13～14%(Brix.)、酸度は0.3～0.4g/100mlであり、酸味が穏和で食味良好です。
- (8)サビの発生は少なく、まれに蜜が入り、果汁の量は多いです。

収穫期：9月下旬
糖 度：13～14%(Brix.)
酸 度：0.3～0.4g/100ml
果 重：250～300g



酸味が穏和で食味良好
全面に着色、着色良好
果汁多く、まれに蜜入

【2 活用方法】

- (1)収穫期が早生種と中生種の収穫の端境期に成熟することから、赤色系品種のリレー出荷が可能となります。

例)「つがる」「岩手7号」「ジョナゴールド」の出荷により産地の名前が市場の中で続く。
産地イメージの確立により消費拡大につながります。

- (2)収穫ピークの分散により、選果場における集荷および選果のピークを分散し労力分散につながります。

【3 留意事項】

- (1)収穫果の日持ち性は、普通冷蔵で約1ヶ月、常温で10日程度と推察されます。
- (2)果汁の多少については、生産地、収穫時期により多少変化すると考えられます。
- (3)受粉親和性に関わるS遺伝子型が「黄香」と同一ですので、新改植等の際には構成品種を良く検討する必要があります。
- (4)着色が先行するので、内部品質を吟味して収穫を行ってください。